RIPPLE SAILING CLUB
NO.69

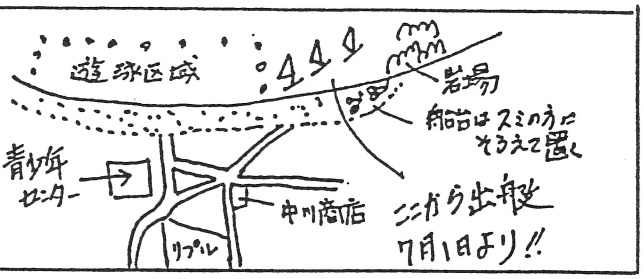
月刊 1988・6.1.5

RIPPLE

（発行） 500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
℡ 0468−57−1711

出艇場所が変わります

7月1日より8月31日まで、例年恒例の海の家の営業が始まります。そこでいくつかのお願いを！
まず出艇場所が変わります。今までまっすぐに出していたのですが、裏道を通って、海に向かって右側よりの出艇となります。その際車と鉢合せになったり、車に追い付かれたら、車優先とゆきましょう。
また砂浜では、使い終った船台は他の置き場の船台と一緒でも構いませんので、隣の方に並べて置いて下さい。
遊泳区域に入らないのは勿論ですが、もし入ってしまったら、艇を降り泳いでいる人に充分注意をして、速やかに遊泳区域を出ましょう。
また、潮が引いてくると帆走区域迄泳いでくる人がいますので注意です。
昼食時、よくブイに艇をつないでいる人がおりますが、下はズタ袋に砂が入っているだけですので破けてしまいますので禁止です。夏の出艇にはちょっと、こつが有るのですが、それは月刊RIPPLE、Vol・57を参照して下さい。
まー、海の家がハイレグのおねーちゃん達を集めてくれるんだ。と思うと、あのうっとうしさも半減しません？！。



ヨット駅伝でハワイへ行こう

来る6月19日（日）あの恒例のセーリングスポット対抗ヨット駅伝が行われます。
リプルからは2チーム合計16名の選手団です。
今年の優勝チーム者への副賞は、なっ、なんとハワイで行われるケンウッドカップ観戦ツアーへ2名ご招待です。
景品たっぷり、ビールぐびぐび！おにぎりもりもり！、つまみばりばり！
これで参加費1000円！そして運が良ければハワイ行き！
うっとうしい梅雨の一日をおもいっきり楽しみましょう。結局は朝ね。

ベースキャンプ 蒲郡裏話!! Nippon

先日仕事でニッポンチャレンジの本拠地、愛知県蒲郡へ行ってきました。
街の中へ入ると街路灯のそこかしこに、あの日の丸とデザイン化したNIPPONのシンボルマークの入った小旗が、そこかしこに飾って有り「おお！、やってるな！。」という感じでした。
ところが、街の人にベースキャンプの場所を聞いても誰も知らず、「？？？」という感じになってしまったのである。かろうじてタクシーの運転手が知っていただけで、一部マスコミで騒いでいる割には、蒲郡の一般市民は、さめていたような感じです。
蒲郡駅のすぐ近くにある竹島埠頭の一角に、2500坪を使用して新設されたニッポンチャレンジのベースキャンプの中には、12m級のセールが広げられるセールロフト、艇がすっぽり入ってしまう格納テント、毎朝トレーニングをしているという、近代的なトレーニングマシーンのつまったテント、それにメンテを行うロングコンテナ2棟と、クラブハウスに、食堂が有り、外からみる限り中小企業の何かの製造工場と倉庫といった感じがしました。
中に入り先ず驚いたのは、クルー募集の応募条件で体格180cm以上となっているせいか、均整のとれた、それも黒人のように真っ黒に潮焼けし、目だけがやけに輝いている大男達が、岸壁に係留されている"日本2"のデッキの上で、直径がかなだらいも有ろうかと思われるウインチの潮だしをしたり、シートをまとめたり、せわしくそして厳しく動き回っていたのである。しかも、目の前にいるクルー達は、12m級ワールドでスエーデンに海外遠征に行っている、一軍の留守を預かる二、三軍のクルーというのであるから、小松一憲率いる一軍はどんなものか、一見できなかったのは真に残念である。
この底しれずお金のかかるアメリカズカップのオフィシャル・サプライヤーとして、1億円ものお金を"ポーン"と気前良く提供した企業が27社も有り、さすがこちらの方の取りまとめ役 "ヨッ！、電通！。"という感じです。
その各スポンサーへの見返りとして、スチール写真5種類を提供しなければならないとあって、私が訪問したときは、留守を預かる二、三軍のクルーの大切な仕事（？）の一つとして、スポンサー名の入っているおばけの様なスピンを一日3社、練習の時上げ下ろしをしているのです。
そしてこの12m級のヨットを使っての各企業のCM作戦というと、27社中、わずか丸井と日本石油の2社しか名乗りを挙げておらず、丸井に関してはスチールのみで、また日本石油に関しては、これはTVで8月の僅かな期間それも、1−2秒程度の露出になるだけだそうです。1億円も投入しておいてですよ！！。
というのは、各企業それなりの理由が有り、大半はヨットはまだまだ一般的でないというのが理由なんですって。
27社のスポンサー様！ちょっと消極的な考えでは有りませんか？4年毎に行われるオリンピックでは"ガンバレニッポン！"とか、"我々はオフィシャルサプライヤーとして参加しております。"とかでよくTVに流れてくるのを見るに、このアメリカズカップもオリンピックとはいかなくとも、とにかくビックなイベントには違いないのであるから、27社の内、半数くらいの企業が何等かの形で、"頑張れニッポンチャレンジ！！"というコピーと、あの日の丸とデザイン化したNIPPONのシンボルマークをTVで流して欲しいものです。
それにより各企業の考えている、まだまだというのが急速に短縮され、逆に"へーあの企業がねー" という時代の流れに変へていって欲しいものです。
会社を止めたり、学業半ばにしてこれからの2年半、大切な青春時代を、この一つの大きな目標に向かってひたむきに一歩一歩、歩み続けている彼らクルーを見るに、我々ヨットマンだけでなく、このビックイベントに、熱い声援を贈る人が一人でも一社でも、多くなることを願ってやまないのである。
翌日、クルー不足に悩むこのシンジケートより、本気で一日でも良いからクルーとして乗艇をお願いされたのであるが、仕事の都合で蒲郡を後にしなければならなかったのが残念である。

頑張れニッポンチャレンジ！！

頑張れクルー達よ！！

ごめん今月はページもつまる。駅伝の様子等あり帆走指示書やらスポンサーへの宣伝文やらでものすごく忙がしかった

◎ファーストとの対抗戦は雨と無風で中止になりカップは我々でファーストに渡すのが楽しみになりました。